

第29回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会重要事項通知（選手必読）

2018年11月12日
全日本FT大会
実行委員長 盛島一盛

クラブ長、選抜選手およびセコンドの皆様は、かならず一読して下さい。

目 次

I、組手試合ルール重要事項

- 一、技を出さないで前進する行為
- 二、引き分けの場合の体重判定
- 三、顔面強打は即失格
- 四、滑り止めスプレー使用は失格及び罰金

II、選手集合と持参するもの等

- 一、選手集合（計量）時間
- 二、受付手順
- 三、選手が持参するもの

III 後楽園ホール入館と開会式整列

- 一 後楽園ホール入館
- 二 開会式入場と整列および退場

IV 試合進行上の注意

- 一 蹴武型（個人戦）選抜選手の鉢巻の色
- 二 組手選手の青コーナー、赤コーナーの別
- 三 エントリー6名以下の種目の1回戦で棄権が出た場合の対戦表の変更

V その他注意

言 記

I、試合ルール重要事項

本大会の組手試合はすべて無差別級です。

たとえば、10kgも体重の差は、ボクシングなら3～4階級も違うことになります。

また、全日本FT大会組手はリングで試合を行います。

死亡事故等を防止するため次の行為を禁止します。

一、技を出さないで前進する行為

身体の高い選手が、ガードを堅め、蹴りの攻撃をしないで、前進する行為は禁止します。

即時、主審が注意または失格を宣言します。

前進する場合は、かならず蹴り等の技をだすように心がけてください。

1、本大会は、華麗な蹴り＝蹴美（シュウビ）で勝敗を決める大会です。

蹴りは一定の距離が必要です。フルコンタクト系空手のように

顔面がら空きで接近し、下突きやローキックを打ち合う競技ではありません。

2、リング上で、体の大きな選手が体の小さな相手選手を体格を利用して前進し、勢いにまかせてコーナーに追い込むとロープから落ちます。

3mの高さから転落すると死亡事故につながります。

二、引き分けの場合の体重判定

1、A級組手 男・女

1) 最大2回の延長戦で決着がつかない場合、少しでも体重が軽い選手を勝者にします。

2) ただし、試合内容が素晴らしいと最高審判長が判断した場合、再々延長戦を行う場合があります。

それでも決着がつかない場合は少しでも体重が軽い選手を勝者にします。

2、壮年、B級、高校生・中学生・小学生の組手

1) 体重10kg以上の差がある場合は、延長戦は行いません。軽い選手を勝者にします。

2) 最大1回の延長戦で決着がつかない場合、少しでも体重が軽い選手を勝者にします。

3) その他

試合の進行上、時間的に余裕がない場合は、上記に限らず体重で勝敗を決めます。

三、顔面強打は即失格または減点

無差別級組手試合で顔面強打有りの立ち技系武道はありません。
また、本大会は突きで勝敗を決する競技でもありません。
ヘッドギアを着用していても、首を鍛えていないと大けがをします。

- 1、顔面への強打は、主審が即時失格または減点1をいれます。
とくにB級男子組手は蹴り技の熟練度が足りないため顔面への強打が目立ちます。
厳しくチェックしますので反則負けにならないよう注意して下さい。
- 2、ヘッドギアを着用しないA級男子は、突きにより相手選手が出血した場合、失格となります。
規定通り、「蹴りを活かすための突き」は、おでことあごに限定して下さい。

四、滑り止めスプレーは使用を禁止する。 発覚次第、失格とし、 一人当たり罰金3万円を徴収する。

理由は大会要項とおり。

II、選手集合と持参するもの等

一、選手集合（計量）時間と受付手順

1、選手集合（計量）時間

午後2時00分（時間厳守。遅刻者は理由を問わず失格とします）

*少年部演武者は午後3時00分以後楽園ホール入口に集合してください。

2、集合場所（JTA総会会場と同じ）

アジア青少年センター・9階 国際会議室

東京都千代田区猿楽町2-5-5 在日韓国YMCA内 03-3233-0611 駐車場無し

二、集合時の手順

1、出欠は選手本人に限る。いかなる事情があろうとも欠席した場合は例外なく失格となります。

毎年、会場入り口が混雑します。13時30分以降、9階国際会議室へ移動してください。

総会会場への入室を認めます。静粛に待機して下さい。

2、組手選手は、私服のまま体重計にのり、申告体重との増減を確認します。

スネサポーター、肘サポーター等を使用する場合、

計量時にメモ書き（様式随意。氏名とサポーター種類を記したもの）等を提出してください。

- 3、選手には受付時にパンフレット1部配布します（無料）
チケットやパンフレット事前購入者は、受付時に振り込み控えを呈示して下さい（担当 久保）

三、選手が持参するもの

1、自己のJ T A黒帯道衣

全日本F T大会選抜選手は、自己のJ T A黒帯道衣を着用（中古不可）しなければなりません
ただし、高校生、中学生、小学生の選抜選手は、色帯道衣での参加を認めます。

例外 2回戦以降に使用するため、自己の所有する道衣の他に、
他のJ T A会員から黒帯道衣の貸与を受けても構いません。

2、自己の黒帯

- 1) 全日本F T大会は有段者の大会です。黒帯を着用しなければなりません。
ただし、昇段して間もない選抜選手の黒帯は、全日本大会迄、間に合いません。
該当者は、所属クラブの指導者・先輩等から黒帯を借りてください。

- 2) イサミ等のメーカー名の入った帯留めは禁止
写真撮影上、膨らみすぎて見栄えが悪いため。

代替処置として各自が黒いテープを用意し、黒帯の結び目を固定してください。

なお、100円ショップ等で販売している安物は根着きに問題がありますので避けましょう。

3、自己所有の青または赤の手足防具

組手防具は主催者側は準備しません。所属クラブ等で用意して下さい。
選手呼び出し時点で準備できていない場合、失格となります。

- 1) 自己所有の青または赤の防具を持参してください。
青または赤の自己が所有する防具のない選手の全日本F T大会参加は認めません。
両色とも他者から貸与を受け或いは中古品で全日本F T大会に参加したことが後日発覚した場合、
試合成績はすべて無効となります。

2) 防具の「シェア協定」

青防具を所有している選手が赤防具を所有している選手と「シェア協定」を結んで下さい。
青防具を所有している選手が、1回戦で赤防具が必要な場合、
「シェア協定」を結んでいる選手から赤の防具を借りて試合に出場して下さい

4、自己所有の胴防具

J T Aオリジナルの胴防具（青・赤のリバーシブル）に限ります。

自己の胴防具を所有し、貸与届け出を提出している地方クラブ選手のみJ T A本部が準備します。

5、マウスピース

組手選手は、安全上、マウスピースを着用してください。
マウスピースの色は透明に限ります。それ以外の色は認めません。

6、組手選手男子フェールカップ

付け忘れは失格です。黒帯道衣の中に着用して下さい。外に着用していた場合は失格です。

7、組手選手の白い軍手と爪の事前処理

拳の握りが甘いと顔面突きの際、指（とくに親指）が相手選手の目に突き刺さることがあります。

最悪の場合、相手選手が失明します。

よって白い軍手（古くて変色した軍手は禁止）を着用した後、手の防具を着用して下さい。
なお、2回戦以降に使用するため軍手を複数用意することを勧めます。

同様の理由により指の爪は、男女を問わず必ず短く切っておくように。

8、スネサポーター着用は少年少女部以外は任意

- 1) 色は白に限ります。それ以外の着用は失格となります。
- 2) スネサポーター、肘サポーター等を使用する場合、下記の計量時に司会者に届け出て下さい。
上記のサポーターを使用する場合、蹴りがその分重くなりますので、選手の体重に加重し、
体重判定の際の勝敗基準とします。

9、飲料水と塩

リング上はライトにより観客席よりも温度が高く、運動量及び緊張等で水分が必要となります。

セコンドは、選手の試合前、試合後、延長戦前の休憩時に安全上、必ず水分を補給させて下さい。
がぶ飲みは危険です（JTA本部HP参照）。

塩または塩分補給の飴を持参し、水分と共に補給して下さい。

10、セコンドのチケット

選手本人は必要ありませんが、セコンドは必要です。

セコンドは開場するまで後楽園ホールに入場することはできません。

セコンドがチケットを忘れた場合、再度、後楽園ホールで購入して下さい。

例外は一切認めません。なお、当日券は3500円です。

11、健康保険証の現物

- 1) 万一の事故や大怪我が生じた場合、最寄りの救急指定大学病院等へ搬送します。
その際、健康保険証の現物が必要です。
- 2) 救急車手配の窓口は後楽園ホールです。各自が行うと到着が遅れます。
- 3) 各クラブは救急車搬送の際の付き添いを決めて下さい。親や兄弟でも構いません。

III 後楽園ホール入館と開会式整列

一 後楽園ホール入館

本年度より後楽園ホールの契約内容が変わり、夜の部は、準備のため午後3時15分に入館できるよ
うになりました。よって本大会は「5時00分開演」となります。

1、設営時に入館できるのは、選抜選手、実行委員・役員、演武者のみです。

セコンドおよび少年少女部の保護者は入館できません。

後楽園ホール担当者の管理のもとチケットで入館して下さい。

- 2, 各自が選手控え室で道衣等に着替えて下さい。
 - 1) 女子・少女部は、チャンピオンルーム奥の部屋を使用して下さい。
 - 2) 男子（演武者含む）は、上記以外の選手ルームを使用して下さい。

注意 大会専門の窃盗団がいる可能性もあります（18年前のITF時代に盗難有り）。
貴重品、スマホ等は絶対置かないようにして下さい。

万一、盗難にあってもJTAおよび関係者、東京ドーム・後楽園ホールは責任を負いません。

- 3, リハーサルまで各自がウォーミングアップをして下さい。
荷物運搬や設営等を手伝う必要はありません。試合に集中して下さい。
- 4, 組手試合のリング・ロープ調整完了次第、リングにのぼって練習しても結構です。
型試合のコートで型の練習をしても結構です。
- 5, セCOND
私服は一切禁止します。セCONDとしてふさわしい服装を心がけて下さい。
OB・OG、休会者は、セCONDにふさわしくありません。禁止します。

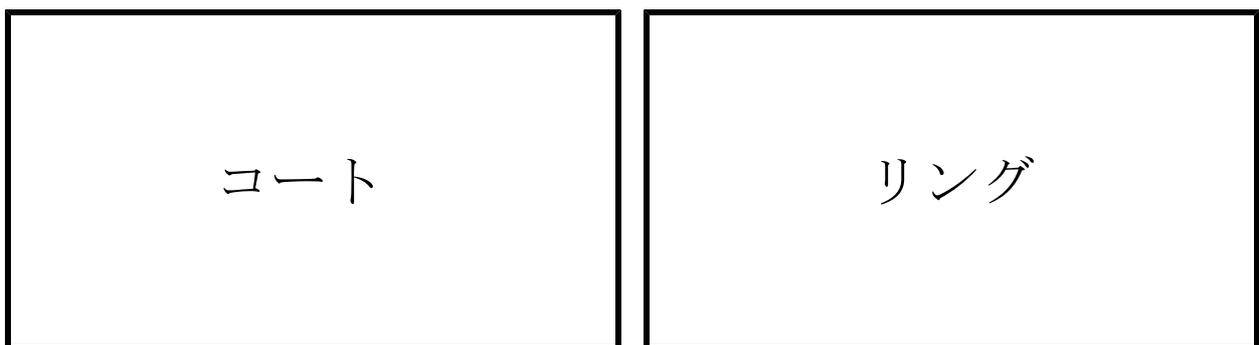
二 開会式入場と整列および退場

開会式を円滑に進行するため選抜選手は、自分の位置を確認して下さい。

1、後楽園ホール鳥瞰図

選手はリングとコートの2面に整列します。

観客席



本部席

2、リング上に整列する選手の位置

リングに上れるのは、

前年度チャンピオン、A級蹴士・準A級蹴士、A級男子組手及び型A級ベスト3、選手宣誓者

リング選手整列図

<u>高田憲利</u>	齊藤未有	<u>武田龍倭</u>	<u>福島良菜</u>	<u>倉田剛志</u>	
	<u>小川浩平</u>	森 慎治	<u>高橋英秀</u>	<u>寺川 葵</u>	<u>前根奏子</u>
八幡直明	<u>長濱聖英</u>	伊藤岳陽	安岡洸佑	<u>西谷慎一郎</u>	
リング整列合計 15					

リング整列選手の注意事項〈起立私語禁止。男子選手は上・道衣の中にシャツ等の着用禁止〉

- ①先頭・高田、齊藤、武田の順で「左端横」から整列。
- ②2列目以降の選手は、前列の選手の間~~に~~立ち観客席から全身が見えるように整列する
- ③高田、齊藤、武田は整列した場所から一步前に踏み出して選手宣誓を行う
- ④退場時は入場とは逆の順番で退場する。西谷、安岡、伊藤の順。
- ⑤リングに入る際および出る際に一礼する。

3、コート上に整列する選手の位置

コート選手整列図

6列	5列	4列	3列	2列	1列
A級	B級・壮年		高校生&中学生	小学生・中学女子・女子	
<u>辻 陽介</u>	<u>藤原慎介</u>	<u>相良典隆</u>	<u>加藤瑛太郎</u>	<u>笹岡光多</u>	<u>市坪 愛</u>
山崎崇史	芳賀大嗣	<u>渡邊健人</u>	三根昂琉	<u>稲垣海翔</u>	角田知美
<u>佐藤秀是</u>	前原直樹	小林 資	久保田孝平	角 愛梨	<u>村上友里恵</u>
<u>片川拓真</u>	橋本博司	<u>井野敦哉</u>	中道孝汰	<u>安岡真子</u>	藤井 彩
<u>松浦康大</u>	<u>長野一郎</u>	<u>河野昌俊</u>	<u>三富朝日</u>	<u>今岡若菜</u>	<u>長岡 泉</u>
西岡 健	<u>森啓史朗</u>	河田哲雄	<u>鎌田健矢</u>	富村紗英	<u>野村紅梨子</u>
秀崎康隆	磯部敦哉	<u>濁澤舜</u>	<u>木下颯太</u>	中浜祐美	近藤美緒
<u>寺田皓成</u>	<u>中澤 友</u>	山脇浩司	<u>三根輝琉</u>	中島光	坂榮真緒
			寺川洸大		<u>高 伶香</u>
コート整列合計 50人					

→↑ →↑ →↑ →↑ →↑ →↑ →↑

コート整列選手の注意事項 <起立私語禁止。男子選手は上・道衣の中にシャツ等の着用禁止>

- ① 1列 先頭・市坪・・・の順で→↑に「右端縦」から整列。
- ② 2列 先頭・笹岡・・・の順で→↑に「右端縦」から整列。
- ③ 3列 先頭・加藤・・・の順で→↑に「右端縦」から整列。
- ④ 4列 先頭・相良・・・の順で→↑に「右端縦」から整列。
- ⑤ 5列 先頭・藤原・・・の順で→↑に「右端縦」から整列。
- ⑥ 6列 先頭・辻・・・の順で→↑に「右端縦」から整列。

退場時は入場とは逆の順番で退場する。コートに入る際は正面に、出る際に降り返り一礼。

開会式終了後、少年少女部演武を行います。

その間、選手はすみやかに試合を開始するため防具を着用し準備運動を終えて待機して下さい。

IV 試合進行上の注意

一 蹴武型（個人戦）選抜選手の鉢巻の色

- 1, 型試合はA級決勝戦を除きすべてコートで実施されます。
- 2, 型の選手に対し、J T A本部が用意した青または赤の鉢巻を黒帯の後方にかけるようにします。
- 3, 司会から最初に呼び出しを受ける選手が青コーナーとなり、青い鉢巻をかけなければなりません。
セコンドは対戦表で選手が2回戦以降の対戦相手より上段に表記されているかを確認して下さい。
上段にあれば青の鉢巻、下段であれば赤の鉢巻です。
鉢巻は、試合終了後、コート責任者に返却して下さい。

二 組手選手の青コーナー、赤コーナーの別

- 1, 司会から最初に呼び出された選手が青コーナーとなり、青い防具を着用しなければなりません。
セコンドはすでに発表されている対戦表を確認し、
自選手が2回戦以降の対戦相手より上段に表記されているかを確認して下さい。
対戦表の上段は青、下段は赤です。

開会式整列表で、アンダーラインがひかれている選手は、青防具または青襷です。

組手と個人型に出場する選手は組手を基準に表記

- 2, ヘッドギアや胴防具の色も手足防具と同じです。
個人又は各クラブで準備してください。
防具（着用）の色とコーナーは同じです。例）青+赤→1回戦を青防具、2回戦は赤防具
- 3, パンフレットで対戦表を確認後、3試合前迄「リング通路」と「コート通路」に待機して下さい。

リング責任者、コート責任者に選手名を告げ 待機準備していることを伝えてください。
各責任者からリング司会またはコート司会へのスタンバイ通知が滞ると試合進行に支障が生じます

三 エントリー6名以下の種目の1回戦で棄権が出た場合の対戦表の変更

1回戦で棄権が出た場合、対戦表が変更になる場合があります。
例えば、エントリーが4名で1名棄権が出た場合、総当たり戦となります。表彰は1名に変更。
2連勝した場合、最後の1試合は実施しません。

V、その他注意

- 1、開会式・試合・閉会式等、道衣の上や中にシャツ等を着ることを禁止します。
ただし、女子選手は白のシャツに限り着用を認めます。
- 2、開会式・閉会式リング上での私語は控えて下さい。終始沈黙・起立。
- 3、通路でのミット蹴り等は、禁止します。
選手控え室からリング上にのぼる際の地下階段のスペースのみ許可します。
- 4、ウォーミングアップの際、通行者（とくに子供）に注意して下さい。死亡事故につながります。
- 6、敗戦後、選手控え室等でOB等と世間話などせず、試合を観戦・応援するようにして下さい。
自分の試合を観戦・応援してもらっているのであれば、自分が負けた後であっても、他の選手の試合を観戦するのがスジであり、それがJTA七大精神の礼儀礼節です。
- 7、通路側での私語を禁じます。声が響き会場全体に拡がるからです。
大会スタッフから注意を受けた者は、その場で退場させます。試合は棄権となります。
- 8、コンタクトの使用制限
格闘技は視力が弱くても競技が可能です。
また、コンタクトを使用しての格闘技は、目に負担がかかり危険です。
普段の練習時にコンタクトをはずし、馴れておくことが大切です。
審判は、コンタクトの着用の是非は確認しませんが、
仮に、コンタクトを落としたり、ずれたりしても、試合は中断しません。弁償もしません。
当該動作をした時点で主審は失格を宣言します。

9、道衣の中にヒートテック、その他タイツ等を着用することは禁止します。

本大会は、蹴りを主体とする格闘技の試合です。

写真撮影上、道衣の中のタイツ等は、組手および型の蹴りの動作時に写ってしまい見栄えが悪く、また美しくありません。

ただし、膝までの長さのタイツ等は写りにくいので白に限り着用を認めます。

10、道着の下着のひも

黒帯道義のひもが長い場合、のびてしまい写真撮影の際、見栄えが悪くなります。

かといって、きつくしめるとトイレ等ではずすのに時間がかかってしまいます。

チョウチョ結びを2回行う（宗師範結び）と、のびることもなく、ほどくことも楽にできます。

11、表彰式・閉会式後の写真撮影

後楽園ホールの要望により、最期の参加者記念撮影でリング上に上れる人数が制限されます。

入賞した選手と実行委員のみがリングに上り、

それ以外の選手はリングの下で、起立、中腰、正座等で全員の顔が見れるようように整列して下さい。

写真撮影は自由です。

観客席から撮影しないと全体写真を撮ることは難しいと考えます。

後楽園ホールは午後9時30分までに完全退去しなければなりませんので、ご了承下さい。